

「自然を大切にすること」

静間小学校 六年

宮根

陽

僕の家では、おじいちゃんがお米を作っています。おじいちゃんは今年で八十五歳になります。一昨年まではたくさんの田んぼの仕事を一人でやっていました。でも、年をとって体がしんどくなってきたので、今は家で食える量だけのお米を作っています。僕の住んでいる地域は、五月に田植えをして九月に稲刈りをしています。ぼくの住んでいる地域で

は、米作りをする若い人が少なくなってきたので、人の家の田んぼもみんなで協力して作っています。おじいちゃんができなくなったら田んぼも地域の人やってくれます。日本では、お米が不足しているため、外国のお米を販売したり、国の備蓄米を安く売ったりしているというニュースをテレビで見ました。理由は、異常気象による米の不作、備蓄米の放出の遅れ、そして海外からの観光客増加による需要の増加、減反政策の影響でお

米がなくなつたそうです。ぼくは、このことを知って驚きました。僕の家の周りは田んぼがたくさんあるのに、日本全体ではお米が足りなくなつているなんて信じられませんでした。毎日、当たり前前に食べているお米が食べられなくなるかもしれない、今まで考えたこともなかつたので、お米は大切な食べ物なのだと気づくことができました。

おいちゃん、は、暑い日も寒い日も田んぼの手入れをしていきます。朝早くから草刈りを

したり、雨の中でも水の調整をしたりします。その努力のおかげで僕は美味しいお米を食つることができています。僕は野球でキヤッチャーをしていきます。体が大きくないと投げることと打つこともできません。そのために、毎日お米をたくさん食べます。白飯は体を作るためには欠かせない食べ物です。改めて自分の生活を振り返るとお米はぼくたちの食事や健康にととても大切だと感じました。ぼくの家の周りは、今も自然がたくさんあ

ります。どこを見渡しても田んぼがあつて、夏はカエルが大合唱をしたり秋にはトンボがたくさん飛んだりしています。そんな自然がたくさんあるところで僕は生活しています。お米を育てるためには、きれいな水や空気、土が必要です。田んぼにはたくさんの生き物が住んでいます。この自然を守ることは、ぼくたちの命を守ることにつながります。

僕はこれからもおじいちゃんの手伝いながら自然を大切にしていきたいと思います。まず、そして、美味しいお米を毎日たくさん食って、もっと体を大きくして野球で活やくできるようにしたいです。僕の家周りのように緑がたくさんある日本であり続けられるように、僕も自分にできることを頑張っていきたいと思います。